

47年振りに京都に帰ってきました

第58回日本薬剤師会学術大会（10月12日(日)、13日(月・祝)於国立京都国際会館）



（その7）分科会部門 金山 美沙

分科会部門担当の金山美沙先生にお話を伺いました。

分科会部門担当
金山 美沙

—分科会の担当をされていますが、どのように分科会は決まっていたのでしょうか。—

私は「京都ならではの」分科会担当を仰せつかりました。京都らしい分科会とはなんだろう、どのようなテーマであれば参加者が喜んでくださるのかを悩み、分科会メンバーで何度も会議を重ねてきました。形にできた段階で演者、座長の先生方にご依頼するのですが、この時が一番苦労しました。お知り合いの先生に繋いでいただいたりすることで、なんとかご依頼することができ、本当に多くの先生方にご協力いただきました。ありがとうございました。また、演者、座長をお引き受けいただきました先生方にも厚くお礼申し上げます。学会の運営は初めてで、何をしたら良いのか全く分からない所からのスタートだったのですが、私のような若い年代にも任せていただきましたこと、京都府薬剤師会の役員の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。また、多忙な業務の合間に会議を行ってききましたので、十分なコミュニケーションが取れないまま進んでいたりすることもありましたが、分科会もすべて出そろい、ホッとしています。

—分科会のアピールポイントを教えてください。—

私が企画した中で一番の肝煎りが「分科会14 薬剤師による栄養管理の関わり」です。私たち薬剤師が薬物治療の視点を持ちつつ、栄養管理に関わることで患者のQOL向上が期待できることを、私が在宅業務を行っている中で常々考えてきました。栄養を考える研修会はなかなか機会がないので、著名な先生方を講師としてお招きし、「京都ならではの」企画と私の中で位置づけました。

—参加を検討されている皆様へメッセージをお願いします。—

京のおもてなしマップの中のB1 イベントホールでは、京都宇治にお店を構えておられます、宇治茶の旭園さんにご出店いただきます。創業は1791年寛政3年の老舗のお茶屋さんです。グリーンティー、ラテ、ソフトクリームなどをご用意いただくことになりました。旭園さんとは予期せぬご縁で仲良くさせていただいており、ぜひたくさん先生方に本場のお茶を楽しんでいただければと思っております。

全国から参加された皆様方がこの学会で多く学びを得、それぞれの場所でご活躍されることを心から願っております。

分科会だけでなく、京都ならではの企画が目白押しです。京都でお会いできますこと、楽しみにしております！